

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	「働く場所」としてのスタンスを保ち利用者の生活向上に資する支援の展開に努めています
	内容	事業所は生活介護事業所ですが、考えとして「日中活動の保障」「利用者一人ひとりの主体的な生活の支援」を実現していく上で「働く場所」であるということに基づいています。その線を動かすことなく、事業所が行っている作業プログラムに必要な事柄については準備を行い、利用者ができることを見極めスムーズに活動ができる環境を整えています。さらに、5年・10年の利用者には「永年勤続表彰」も行い「働く場所」としてのスタンスを守りながら利用者の生活の向上に役立つような支援の展開を行うことに努めています。
2	タイトル	レクリエーション等の生活支援事業を継続し、その充実に取り組んでいます。
	内容	法人、事業所の考えのベースは事業所は「働く場所」ということですが、活動面で切り分けながら、利用者の生活面での支援の充実も大きな目標としています。その一環として夕方生活支援として行ってきた、音楽教室やプールでの運動プログラム、カラオケ、お風呂等の一部のプログラムはコロナ禍で中止を余儀なくされました。しかし、厳しい環境下でもできることを見極め旅行を始めとする従来のプログラムを展開し慎重な対応をはかりながらもレクリエーション等のプログラムの充実に取り組んで、利用者の満足度を高めています。
3	タイトル	健康診断や運動の機会を提供し利用者の健康増進に努めています
	内容	年に1回行われる健康診断は看護師が検査結果を分析し、運動量や食事について見直しが行えるようにしています。見直された結果を計画書へ反映して、活動や日常生活について目的をもって、支援が行える仕組みがあります。なかなか解消することが難しい運動不足については今年度、運動習慣定着支援事業にエントリーし、選出された専門指導員のもと計画的に運動が実施されるプログラムの立案も行われています。健康診断の結果を考慮し、運動できる機会に積極的に取り組むことで、利用者の健康管理と体力増進が図られています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	新入職員育成の仕組みを整えることで職員が定着することが期待されます
	内容	前年度の職員の採用は9名、退職8名となり採用活動を切れ目なく行わなければならない現状があります。時には派遣職員も活用し利用者支援に努めています。採用した職員に対して育成担当の他に、事業所全体で育成する体制となっていますが、定着した育成とはなっていません。採用した職員が定着したものになるようにチューター制度など担当者を明確にした育成が必要と思われます。利用者の障害特性により支援内容は高度なものを求められます。そのためよりきめ細やかな指導が行える制度を取り入れることが期待されます。
2	タイトル	利用者の身体機能の見極めができる視点を強化する取り組みが期待されます
	内容	日頃より身体介護を行う際、利用者のできる力を奪わないよう職員は見極めを行い支援にあたっています。特に、排泄介助は羞恥心にも十分に配慮しています。障害特性があることで、職員からの促しを利用者が理解できず上手に動作に移すことができないこともあります。職員は利用者がわかる言葉で理解できるように促すも理解が難しく、職員が先に対応してしまうことがあります。残存機能を活かすためにも時には待つことも大切です。今後は更に利用者の羞恥心や残存機能に目を向け過剰介護にならない利用者支援にあたることを期待されます。
3	タイトル	経営層と職員間のコミュニケーションの活性化が図られる取り組みが期待されます
	内容	今回の職員アンケートでは「良いと思われる点」「改善したいと思う点」について様々な意見が寄せられました。その中でも職員からは、改善したい点で、経営層と職員間のコミュニケーションでの問題を示唆する面があると感じられました。相互の理解が深まることによって事業所が目指している支援の充実が図られることは経営層も承知しており、コミュニケーションの活性化を図る試みとして職員全員に対する個別の面談を実施されていく考えとのことです。その試みが事業の進展につながることを期待されます。